

様

有明海沿岸道路( 期)の早期整備について

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会

有明海沿岸道路「荒尾・玉名地域」整備促進期成会

# 大会決議

有明海沿岸道路（期）は、有明海・八代海の両沿岸地域の相互連携や交流を目指すため、熊本天草幹線道路や南九州西回り自動車道などと一体的に循環型ネットワークを形成する地域高規格道路である。

本路線は、福岡・佐賀両県で整備が進む有明海沿岸道路と一体となって、熊本・佐賀両県の県庁所在地を最短で結び、九州縦貫自動車道などによる高速道路網を補完して道路ネットワークを形成する重要な路線である。

さらに、沿線の熊本港、長洲港、三池港、有明佐賀空港などの物流拠点施設を繋ぐ『物流の道』であり、また、熊本から佐賀までの2,500万人観光圏を支える『観光の道』となるなど、沿岸地域150万人都市圏の一体的発展や広域的交流の促進に資することが期待できる。加えて、過去に津波・高潮の被害を受けた地域を通ることから、災害発生時の『命の道』として防災・減災の役割も期待されているところである。

福岡・佐賀両県を結ぶ有明海沿岸道路については、これまでに全体約55kmのうち約30kmが既に開通しており、着々と整備が進んでいる。一方、熊本県内においては、地域高規格道路指定から約15年間、本路線の整備に向けた動きがまったく見られなかった。しかし、平成25年8月に着手された福岡県大牟田市から熊本県長洲町までの区間の事業化に向けた計画段階評価手続きの中で、ルート帯などの対応方針が決定され、平成26年11月に都市計画原案の説明会が開催されるなど、整備に向けた動きが見えてきたところである。

これは、大牟田市から熊本市までの全線整備に向けた大きな一歩である。

については、熱気あふれる本大会の声を届けるべく沿岸地域が一つになり、悲願である有明海沿岸道路（期）全線の早期整備を実現するために、次の事項を関係機関に対し、強く提言する。

- 一 有明海沿岸道路（期）全線の国直轄による早期整備を図ること。
- 一 有明海沿岸道路（期）「大牟田市～長洲町」間の早期事業化を図ること。
- 一 有明海沿岸道路（期）の計画路線への格上げを図ること。
- 一 有明海沿岸道路（期）の整備が安定的かつ着実に進められるよう、必要な予算措置を確実に実施すること。

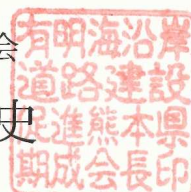
以上、決議する。

平成27年1月31日

有明海沿岸道路（期）早期整備促進決起大会

有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会

会長 熊本市長 大西 一史



有明海沿岸道路「荒尾・玉名地域」整備促進期成会

会長 荒尾商工会議所会頭 那須 良介

